

25～26年度 第1回（一社）神奈川県建築士事務所協会 業務支援委員会 議事録					
開催日時	平成25年7月25日（木）		会 場	（一社）神奈川県建築士事務所協会 会議室	
出席者	担当副会長 棕茂廣 委 員 長 福田亮一 副 委 員 長 大和田優 廿日出頼秀 西倉哲夫 小澤勝美 委 員 神永貞幸 白石巖 神田暁 事 務 局 野口友弘				
○棕担当副会長挨拶 1. 委員長挨拶・委員紹介 福田委員長より委員会発足にあたっての挨拶並びに委員の紹介がなされた。 2. 活動方針および事業内容の確認について 活動方針および事業内容について検討がなされ、下記の内容に沿って活動を行うこととした。 1. 専門委員会の統括 2. 専門委員会主催講習会等の収支管理 3. 環境問題等、委員会独自の調査研究 4. 旧技術調査委員会からの引継ぎ事業に関する調査研究 5. 外部からの業務の受注 6. 地域型住宅ブランド化事業「新しい家づくり応援団」のフォローと連携 ※3.および4.については、（仮称）技術部会を設けて対応することとする。 ※旧技術調査委員会からの引継ぎ事業の中で、構造系に関するものについては、構造専門委員会にて対応する。 ※各専門委員会の議事録は都度正副委員長および委員に配信する。 3. 今期活動スケジュール及び各専門委員会の開催日程について 標記委員会活動スケジュールを策定するにあたり、各専門員会を早期に開催し、活動方針等を確定させることが確認された。また、業務支援委員会用にアレンジした年間行事日程表を作成し、日程の追加・変更が生じた都度、事務局より各委員あてに配信することとした。 4. 講習会等の実施について 各種講習会等の実施について確認および検討がなされた。 （CAD研修会） ・旧技術調査委員会にて実施していた事業。毎回、定員に対する受講者も多く好評であり、会員サービスの観点から必要な事業ではあるが、収支の観点から、事務局員の立会いは朝の受講料支払いおよびポイントの付与、出席者チェックのみとする。 （実務者のための工事監理ガイドラインの運用解説講習会） ・本年9月に（公財）建築技術教育普及センターにおいて刊行される「実務者のための工事監理ガイドラインの手引き」を用いた講習会の開催を検討するよう日事連より依頼があった。この件について、企画委員会へ調整を依頼することとした。					

次頁へ

5. 専門委員会報告

(木造専門委員会)

- ・下記3種の講習会および見学会の開催計画について報告を行なった。

【耐力壁計算およびN値の計算方法について勉強会（初級編）】

開催日時 平成25年9月19日（木）13:30～18:00

会場 神事協会議室

定員 30名

【ツーバイフォーについて（初級編）】

開催日時 平成25年10月16日（水）13:30～18:00

会場 神事協会議室

定員 30名

【カネシン開発試験センター・耐力壁試験見学会】

開催日時 平成25年11月20日（水）14:00～17:00

会場 神事協会議室

定員 30名

6. その他

次回委員会開催日程について

第2回 業務支援委員会 平成25年9月6日（金）15:00～ 神事協会議室にて

第1回 業務支援委員会（技術部会）8月5日（月）16:00～ 神事協地下会議室にて

以上

25～26年度 第2回（一社）神奈川県建築士事務所協会 業務支援委員会 議事録					
開催日時	平成25年9月9日（月）		会 場	（一社）神奈川県建築士事務所協会 会議室	
出席者	担当副会長 棕茂廣 委員長 福田亮一 副委員長 大和田優 小澤勝美 委員 神永貞幸 白石巖 相馬立夫 水田敏弘 神田暁 事務局 野口友弘 高井俊太				
○棕担当副会長挨拶 ○福田委員長挨拶 ○議事進行 小澤副委員長 1. 各専門委員会報告（活動計画および方針等） 各専門委員会での活動計画および方針等について、下記のように報告された。 ＊「住・緑・家」運営専門委員会 ・活動を行なう上での委員数が少ないため、9月の理事会へ新委員の推薦案を上程することとした。 ＊マンション等の大規模修繕業務専門委員会 ・去る8月27日に委員の顔合わせを行い、今後活動を本格化させる予定である。 ＊構造専門委員会（非木造） ・8月5日に一度委員の顔合わせを行なったが、各ブロックより委員が出揃っていない。 ・災害時の沿道の避難経路確保に伴う沿道建築物の耐震性の確保に関して、今後県および各行政にて発生すると予想される当該事業の受託を目指すこととし、また当委員会においては、主に当該建築物の評価を担うことを考えている。 ＊木造専門委員会 ・出席率も高く、事業活動も比較的順調に推移している。 ・4名の副委員長に事業ごとの担当を定め、今後活動を行なうこととした。 ＊景観まちづくり専門委員会 ・7月24日に塩見先生をお招きし、『景観整備機構と建築士の役割 勉強会』を開催した。 ・景観整備機構の組織構築を目指し、各支部へのキャラバンを今後実施する。 ・今年度も応急仮設住宅配置計画作成業務について県と委託契約を交わすこととした。 2. 技術部会報告 白石部会長より下記の通り経過報告がなされた。 ・旧技術調査委員会より引き継がれた各種委員会作成資料の維持管理については、再度内容の精査を行なうとともに、随時更新を行なう。 ・設備設計部門の研究および強化を行なうべく、企画委員会で作成されるデータを活用し、設備設計事務所の取り纏めを検討する。 ・賛助会員を含めた各種企業からの最新技術の習得および会員への周知に努める。					

次頁へ

3. スケジュールの確認について

業務支援委員会を中心とした今年度における各委員会のスケジュールが確認された。また、事務局にて随時更新を行ない、都度配信することがあわせて確認された。

4. 来年度予算の策定について

来年度の事業計画案および予算要求案の提出について、一回目の締切りが10月11日、二回目が11月29日、最終が来年1月31日になることが事務局より説明された。また、予算策定に伴い、10月24日、12月19日、2月20日に開催される総括委員長会には各専門委員会の委員長にも出席いただくようあわせて依頼がなされた。

5. 講習会の企画および評価基準の策定について

講習会事業における企画および実施後の費用対効果等の評価に係る基準の策定について、県の書式を参照のうえ討議がなされた。このことについて、書式の検討および作成は企画委員会へ依頼することとし、作成された書式案について当委員会でチェックを行なうことが確認された。

6. 管理研修会実施に係る知事指定の取得について

昨年12月3日に行われた当研修会は、募集人数230名に対し受講者が90名であり、受講者確保が課題となった。このことを含め、今後の開催方法等について討議がなされ、下記案を総括委員長会および企画委員会へ上程することとした。

- ・会員に対する5年に一度の義務もしくは推奨講習とする。
- ・各ブロック、支部にて開催する。
- ・本会会議室にて少人数形式にて開催し、別途、当事業同等の予算収支になる別事業の実施を検討する。

7. その他

次回委員会開催日程について

第3回 業務支援委員会・技術部会

技術部会 平成25年10月7日（月）15：00～ 神事協会議室にて

業務支援委員会 〃 16：00～ 神事協会議室にて

以上

開催日時	平成25年10月7日（月）	会 場	神奈川県建築士事務所協会 地下会議室
出席者	委員長 福田亮一 副委員長 大和田優 寺本勉（小澤副委員長代理） 委員 神永貞幸 白石巖 相馬立夫 水田敏弘 事務局 野口友弘 高井俊太		

○福田委員長挨拶・議事進行

1. 各専門委員会報告

各専門委員会での活動内容について、下記のように報告された。

＊木造専門委員会

- ・福田委員長よりこの度以来があった幼稚園の耐震診断の件について報告された。

＊「住・緑・家」運営専門委員会

- ・登録料を廃止するが、コンペに参加するには指定講習会の参加を条件とする。
- ・「住・緑・家」ホームページに登録事務所の作品をさらに積極的に掲載する。ただし、登録事務所のホームページへのURLは記載しない。
- ・現状では、各支部のホームページとの相互リンクを貼られていないなど、PR力が不足していると思われる。これを改善する事によってアクセス数の増加を見込めるので、連携をしていくべきと考える。（寺本景観・まちづくり専門委員長）

＊マンション等の大規模修繕業務専門委員会

- ・受付の窓口が神事協の電話だけなので、窓口を広げていくべき。
また事業拡大の観点から消費者向けの相談窓口の設置を今度検討する。

＊構造専門委員会

- ・免震・耐震専門に見学が行える場所での現場見学会を企画中である。
- ・東京都では、幹線道路沿道に面する建築物の耐震診断において補助金が出されている。
神奈川会においても事業の獲得を目指し今後検討する。

＊景観・まちづくり専門委員会

- ・第一回キャラバンを相模原支部にて実施をした。
- ・景観整備機構は、法律にのっとって指定される団体であり、その業務については景観行政団体から依頼によるため業務に繋がる。

2. 技術部会報告

- ・建築士法をからめた契約書式についての講習会（来年2月、3月）および見学会実施に向け今後調整を行うこととした。

3. 来年度の事業計画および予算要求について

- ・講習会の中でイラストレーターやエクセルについては、会員サービスとして実施する必要がないと思われるので、来年度事業からは外す。また全体の予算については、24年度の終始決算と照らし合わせて再度予算組みを行う事とした。

4. 事業収入の拡大へ向けた取り組みについて

(ホームページの活用について)

- ・ホームページを閲覧された方にもう一度ホームページを見ていただくには、新しい情報を随時更新して発信していくべきである。
- ・スマートフォン利用者が多いためそれに対応するホームページを作成してはどうか。
- ・IT 戦略専門の職員を置いた方がよいのではないかな。

(幼稚園耐震について)

- ・幼稚園耐震診断について事務局に2件の問い合わせがあり、県への見積書の提出期限がせまっていたため、今回は木造専門委員会の福田担当理事と寺坂委員長にて対応することが、福田委員長より報告された。

5. スケジュールの確認について

- ・平成26年2月7日(金)、平成26年3月7日(金)に、棕担当副会長に講師をお願いして建築士法を絡めた契約書式の講習会を行う予定とした。
- ・平成26年3月14日(金)に見学会を行う予定とした。

6. その他

次回委員会開催日程について

第4回 業務支援委員会・技術部会

技術部会	平成25年11月11日(月)	15:00～	神事協会議室にて
業務支援委員会	〃	16:00～	神事協会議室にて

以上

開催日時	平成25年11月11日（月）	会 場	神奈川県建築士事務所協会会議室
出席者	委員長 福田亮一 副委員長 大和田優 廿日出頼秀 小澤勝美 専門委員長 永島優子 委員 神永貞幸 白石巖 水田敏弘 神田暁 事務局 高井俊太		

○福田委員長挨拶・議事進行

1. 建築物の液状化対策マニュアルについて

（1）改訂の視点

- ・液状化が起りやすい土地の判定
- ・建築物の液状化対策工法
 - 「液状化の発生そのものを抑える対策」
 - 「戸建住宅における液状化の被害を受けた後の対策」
- ・建築、地質調査等の専門家による相談窓口

（2）構成

- ・液状化の概要と液状化が起りやすい土地の判定方法
- ・液状化のしくみや起りやすい土地の判定方法
- ・東日本大震災による液状化被害とその原因
- ・東日本大震災の概要
- ・県内における液状化被害とその原因
- ・建築物の液状化対策工法

2. 統括委員会予算案の各専門委員会報告

「住・緑・家」運営専門委員会

- ・コンペの運営上、スキルアップとポイント付与を付与する講習会は実施する必要がある。また普通の講習会ではなく、ワークショップのような、講習会を開くこととする。
- ・コンペへのエントリー費を設定することとし、エントリー費については用途と規模によってエントリー費を変えていくこととする。
- ・会議実施数において、8回だけではコンペPRが十分に出来ないと判断をし、月に1回、計12回に設定することとした。
- ・コンペの設計契約獲得後、規約として5～8%の契約手数料を設定することとする。
- ・26年度から登録料の廃止を予定することとした。
- ・コンペPR費はコンペの申込数を増やすためにも必要であり、また、今までは登録社のみのPRだったが、26年度から780社が対象になるため、今までのPRのほかに

マンション等の大規模修繕専門委員会

- ・26年度予算案に関して大きく修正指示はなかった。
- ・海老名でのマンションの大規模修繕が決まった。
- ・大規模修繕の事務手数料として規約1～10%とすることとする。
- ・マンション等の大規模修繕専門委員会もキャラバン活動が必要なのは。

- ・会議の回数は1月と8月を除く、8回から10回へ回数を増やすこととした。
- ・講習会について受講料を高めを設定し、人数を減らす考え方もあるのではないかな。

景観・まちづくり専門委員会

- ・委員の人数が集まりにくい
- ・講習会の受講料は3,500円では、高いと判断し、次回委員会にて受講料を決めることとする。
- ・委員会は原則、2か月に一回とし、足りない部分に関してはメールにてやり取りを行う。

木造専門委員会

- ・次回、委員会にて

構造専門委員会

- ・次回、委員会にて

3. 「(仮称) 既存住宅の活用に係るワーキンググループ」委員の推薦についてご報告

- ・福田委員長より報告、推薦委員として、福田業務支援委員長にお願いすることとした。

4. その他

25～26年度 第5回（一社）神奈川県建築士事務所協会 業務支援委員会 議事録

開催日時	平成25年12月12日（木）	会 場	（一社）神奈川県建築士事務所協会 会議室	
出席者	担当副会長	棕茂廣		
	委 員 長	福田亮一		
	副 委 員 長	大和田優	廿日出頼秀	小澤勝美
	専門委員長	寺坂良明		
	委 員	神永貞幸	相馬立夫	神田暁
	事 務 局	高井俊太		

1. あいさつ 福田業務支援委員長より
2. 建築物の液状化対策についての講習会
- ・建築物の液状化対策の相談窓口として電話受付を事務局とし、その後のアドバイス等の話を振る先として講習会を行う。
 - ・当日の役割として、受付を寺坂木造専門委員長、神永委員、神田委員とし、司会を福田委員長にお願いすることとした。また木造専門委員会にとってかなり重要な講習会になるのではないか。
3. 建築物の天井脱落対策に係る技術基準の解説 の講習会について
- ・1月30日開催の当日の役割及び2月17日開催の当日の役割決めを行った。担当としては下記の通りである。
- 1月30日
- 開会挨拶 : 福田委員長 閉会挨拶 : 小澤副委員長
- 受 付 : 廿日出副委員長 司 会 : 事務局 高井
- 2月17日
- 開会挨拶 : 神田委員 閉会挨拶 : 福田委員長
- 受 付 : 神田委員（事務局 高井） 司 会 : 事務局 高井
4. 26年度予算案 第一次案 再提出のご報告について
- (1) 木造専門委員会
- ・前年度の予算をベースとして第一次予算案を提出した。
 - ・幼稚園の耐震診断を行う場合、ヒアリングとしての経費が出てしまうので、予算案に幼稚園耐震診断の件を計上することとする。また、紹介手数料等については、8%とする。
- (2) マンション大規模修繕専門委員会
- ・研修会について80名で計上をしていたが、70名に変更することとした。
 - ・積極的に働きかけを行わないと検証費をあげていないため、営業等を行えば上げていけると思われるので今後の委員会で揉んでいくこととする。
 - ・また、スキルアップが行える講習会を今後計画していく。
 - ・永島委員長より、専門委員会で使用したい費用について業務支援委員会及び事務局どちらにいうのかとお問い合わせがあり、本年度から業務支援委員会が申し立て及びあつ旋料の窓口とすることとなった。
- 次頁へ

(3) 業務支援委員会

- ・予算案については現状のまま提出をすることとした。

(4) 構造専門委員会

- ・欠席のため次回へ

(5) 景観・まちづくり専門委員会

- ・支出部分に大きな変更ところはないが、会議費の単価がずれているので修正をする。

(6) 「住・緑・家」運営専門委員会

- ・コンペ参加費として、用途・規模等関係なく一律で 3 千円とし、講習会等参加してくださった方にポイントの付与をする。(1 ポイント千円で設定)
- ・コンペに参加していただくために必ず 1 回ガイダンスを受けていただくこととし、その際に 2 ポイントの付与を行う。
- ・勉強をしながら(スキルアップ等)ポイントを付与する講習会を今後計画。
- ・自治会のコンペをこの先も見込めるものとして予算案にコンペ申込のクライアントから最低金額 10 万円を計上する。また、コンペ契約時委託金として 3 % ~ 8 % とし、平均 5 % とする。
- ・また、今後の活動として、新しいものを導入していき会員の方全員が参加出来ることを主に P R していく。

次回 平成 26 年 2 月 13 日 (木) 16 : 00 ~ 18 : 00 神事協 2 階会議室にて

25～26年度 第6回（一社）神奈川県建築士事務所協会 業務支援委員会 議事録													
開催日時	平成26年2月13日（木）		会 場	（一社）神奈川県建築士事務所協会 会議室									
出席者	担当副会長 棕茂廣 委 員 長 福田亮一 副 委 員 長 大和田優 廿日出頼秀 専門委員長 寺本 勉 委 員 白石巖 神永貞幸 相馬立夫 水田敏弘 神田暁 事 務 局												
1. あいさつ 棕副会長より ・各委員会の26年度予算及び行事予定を3月までに決めていく。 ・4月より各委員会はスムーズに動けるよう準備しておく。 ・日本建築防災協会ホームページ名簿掲載申込書を提出するように。 2. 議題 (1) 26年度予算案 第三次検討依頼及び活動報告。 ① 木造専門委員会 -----福田委員長より説明 ・26年度予算案説明 ② マンション大規模修繕等専門委員会 -----廿日出副委員長より説明 ・26年度より営業的広報活動を取入れて積極的に動く （マンション大規模修繕等専門委員会の宣伝をする） ・事務所協会に依頼すると何が良いのか等、売込み案を検討する ・今後登録事務所に対して実績をつけていくための策を検討 （サブ方式等） -----福田委員長より意見 ・業務を行った事務所に対する報告書の提出が必要 ③ 構造専門委員会 -----棕副会長より説明 ・26年度予算案説明 ④ 景観・まちづくり専門委員会 -----寺本専門委員長より説明 ・景観整備機構への準備について説明 ・具体的スケジュールが必要 ・実績づくりの検討 ⑤ 「住・緑・家」運営専門委員会 -----大和田副委員長より説明 ・26年度活動方針説明 ・参加エントリーは神事協会員すべてが可能とした ・クライアントが選んだ理由、もしくはダメだった理由の把握 （アンケート方式等の検討） 3. その他 -----折笠企画委員長より 企画委員会と業務支援委員会とのかかわり合いについて説明 今後の運営をもっとコミュニケーションを多くとった形で進めていきたい <tr><td colspan="7">次回 平成26年3月28日（金） 16：00～18：00 神事協2階会議室にて</td></tr>							次回 平成26年3月28日（金） 16：00～18：00 神事協2階会議室にて						
次回 平成26年3月28日（金） 16：00～18：00 神事協2階会議室にて													

25～26年度 第9回（一社）神奈川県建築士事務所協会 業務支援委員会 議事録			
開催日時	平成26年11月27日（木）		会 場 （一社）神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	委員長 福田亮一 副委員長 西倉哲夫 小澤勝美 廿日出頼秀 専門委員長 寺坂良明 事務局 高井俊太		
1. あいさつ . . . 福田委員長より 2. 議 題 1) 27年度各専門委員会 予算要求案について ①技術部会 【資料.1】 事務局 高井より報告 ・受講料、会員外のお申込者数を再度計算の上、計上。30名×2回の講習会とし、会員外受講の見込みを60名の2割（12名）で計上。ポイントカード使用については60名の1割（6名）で計上する。 ・支出の部について、当初2時間半の講習会と予定していたが、原則14時30分開催～17時終了の講習会とし講習時間を減らし、講師料を下げることにした。 ・上記合わせ、総財務より依頼の支出1割減らしたことが報告された。 →福田委員長より ・予算について特に問題はなし。講習会については、Sketch Up の講習会は今までにやったことない講習会なので、人が集まると思う。メインでやっていただきたい。 ②「住・緑・家」運営専門委員会 【資料.2】 事務局 高井より資料に沿って報告 ・研修会および広報活動費については、コンペ開催数を確保する観点から減額は行わない。 ・コンペ講評に係る費用およびコンペ運営に係る費用については、26年度の活動時間および活動内容から算出した金額で、十分に納得頂ける金額を提示したつもりではいるが、講評委員および「住・緑・家」運営専門委員には更なる負担（1次要求単価の20%減）をお願いすることとし、計上することとした。 ・施工者選定に係る費用については、同システムが採用された場合の計上となっているため、第一予算要求案については、プラスマイナス0で計上していたがこれを集計せず、合計金額を表示するように訂正する。 ・上記の事を踏まえ、約13%支出を減らすことが出来た。 →福田委員長より ・施工者選定に係る費用について、合計金額を表示しないのに計上しておくのは、おかしい。削除するか、再びプラスマイナス0で計上を行っていただきたい。 ③木造専門委員会 【資料.3】 寺坂木造専門委員長より報告 ・総財務より依頼があった支出1割減の話しについて、見学会の会場費を減らすことで対応予定だったが、実験費込みの計上となっているため、減額は難しい。幼稚園耐震診断の打合せ費用を減額することで、支出の約1割減とすることとした。 →福田委員長より ・特に問題はなし。上記の修正をし、提出していただきたい。			
次ページ			

④マンション等の大規模修繕業務専門委員会 【資料.4】

廿日出担当理事よりご報告

- ・ 神事協の予算組立が1年ごとになっているが、マンション委員会の業務は長期計画なため、予算の計上は予想になってしまうため難しい。
- ・ 出張費について、今年度までは交通費のみの計上となっていたがやはり人工が掛かるため現在の計上にて提出を行うこととした。
- ・ テクノサポートへの登録について、掲載されれば活動のPR、安心出来る団体とのアピールが出来る。

⑤構造専門委員会 【資料.5】

西倉担当理事よりご報告

- ・ 沿道耐震の話があれば、予算計上が変わってくるが今現在は、他に計上は行わない。総財務より依頼の支出1割減については、内部講師料を下げることで対応することとする。

⑥景観・まちづくり専門委員会 【資料.6】

小澤担当理事よりご報告

- ・ 総財務より依頼の支出1割減については、第1次案の状態で必要最低限の計上であるため、減らすことは難しい。
- ・ まちづくりの中でも、いろんな種類（古い建物の改修業等）ある。
- ・ 建築士会の川崎支部が景観整備機構に認定された。
- ・ 来年度の秋に景観整備機構へ申請をすることとなっている。

→福田委員長より

- ・ 予算要求案については、特に問題はなし。
- ・ 何年を目途に景観整備機構に認定されるかある程度の計画・見込みを明確にしていきたい。

2) 業務支援委員会次回の日程及び議題について

次回 平成27年1月15日（木） 12:00～14:00 神事協会議室 2階にて

3) その他

25～26年度 第10回（一社）神奈川県建築士事務所協会 業務支援委員会 議事録				
開催日時	平成27年1月15日（木）		会 場	（一社）神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	委 員 長 福田亮一 副 委 員 長 西倉哲夫 大和田優 小澤勝美 専門委員長 寺坂良明 永島優子 事 務 局 高井俊太			
1. あいさつ ・・・ 福田委員長より 2. 議 題 1) 27年度各専門委員会 予算要求案・来年度事業計画について ①構造専門委員会 ・・・ 西倉副委員長より ・来年度の事業計画として、講習会3回、見学会1回を検討。 ・講習会の内容については、沿道耐震および義務化された耐震診断についての講習会を予定しているが、沿道耐震等の話が、来年度どういう風に動いていくかわからないため流動的に講習会運営を行っていくこととする。 ・見学会については、黒沢建設と矢作建設に依頼しもう一度バス見学会を予定する。見学会の開催時期、内容についても流動的に活動・計画を行っていくこととする。 ②木造専門委員会 ・・・ 寺坂木造専門委員長より ・予算については、幼稚園耐震診断の費用を半額ほど下げ予算書を提出した。 ・来年度の事業計画として、幼稚園耐震診断・検査済のない建物調査・今さらシリーズ講習会（内容については、委員の得意分野）・集成材工場バス見学会（昨年開催したものはLVLだったため）を予定 →福田委員長より ・講習会内容について、限界耐力関係の講習会を計画していただきたい。 ・事業計画で色々と開催することがあるため委員の増員を行ったほうがよいのではないかな？ →寺坂木造専門委員長より ・委員会の改定等の内容が明らかにならないと委員の増員等は難しい。 ③マンション等の大規模修繕業務専門委員会 ・・・ 永島マンション専門委員長より ・予算について、名刺作成費については昨年作成したものがあるため、今年度は計上しない。また、テクノサポートに登録をするため、神事協として1部取っていただきたいため、購読料¥5,000を計上。 【テクノサポートへの登録について】 ・提出資料の説明。提出資料については、理事会にも提出をする。 ・前理事会にて質問事項で上がった内容を補足として掲載。 ・テクノサポートへの登録については、任意団体で登録。 ・テクノサポートネットからの業務等依頼は、構成メンバーのみが受けられるものとする。 ・登録のグループメンバーの募集について、2月9日に開催する「マンション建替法改正のポイント」講習会にて募集をさせていただきたい。 ・募集条件として、マンション管理通信の購読。構成メンバー登録に関する契約書の提出 ・契約書の内容の案として、業務を受託した場合の報告義務、購読中止した場合、紛争になった場合はメンバーから除外する、など 登録のメリット ・構成メンバー事務所は、業務受託窓口が増える＝受託機会が増える。 ・委員会は、業務支援の一環としての活動した実績となる。 ・神事協のアピールとなる。				

次ページへ

会員・名簿・購読・登録 4つそろって登録が可能

2/9の講習会については、建替にシフトしている。他に興味を持つ人が狙える。

→福田委員長より

大規模修繕の現場見学会を企画していただきたい。

→永島専門委員長より

ヨコソーへお話し済み。再度確認をし、計画を予定していきたい。

④「住・緑・家」運営専門委員会・・・大和田副委員長より

- ・クライアントとの人付き合いもあるためコンペ立会は同一人物で行ったほうが良いため担当した者は2～3カ月拘束されてしまうだけでなく各データのまとめ等もあるため負担が大きい。
- ・パンフレットが出来たら特定行政庁に配布。各支部の支部長に配布等していただく。
- ・住宅のコンペお申込が年末にあったが、住宅ローン等のことで長期計画のためお断りした。
- ・海老名のコンペで試行した施工者選定システムをまとめ理事会に提出する。
- ・各ブロックの補助金のまとめ
- ・拾えない案件のセクションの作成

⑤景観・まちづくり専門委員会

- ・新たな可能性を見つけるため3カ所でのまちあるきを予定。
- ・調査・研究を含めたコーディネーターの派遣を目安にしていく。
- ・一番大事なのは、地元の方の協力

→福田委員長より

- ・委員の増員について、今年度中に行ったほうがよい

2) 業務支援委員会次回の日程及び議題について

次回 平成27年2月27日(金) 15:00～17:00 神事協会議室にて

25～26年度 第11回（一社）神奈川県建築士事務所協会 業務支援委員会 議事録

開催日時	平成27年4月9日（木）	会 場	（一社）神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	担当副会長 棕 茂廣 委 員 長 福田亮一 副 委 員 長 西倉哲夫 大和田優 小澤勝美 専門委員長 寺坂良明 永島優子 委 員 相馬立夫 神田 暁 事 務 局 高井俊太		

1. あいさつ・・・棕担当副会長より

- ・今後の専門委員会は、お互いの委員会で協力をして、活動して頂きたい。

2. 議 題

1) 26年度事業報告、27年度各専門委員会事業計画及び報告事項について

①技術部会

- ・業務支援委員会開催前に開催し、その場で報告したため省略。

②木造専門委員会・・・寺坂専門委員長より

【26年度活動内容報告】

- ・幼稚園の耐震診断について、今年度は1件であったが業務には繋がった。
- ・講習会について、「今さら聞けないシリーズ」を3回開催。第一弾として「天空率の活用性及び自由度を知る」講習会を開催。参加者は、30名で公開からすぐに定員に達した。お申込が半分以上、会員外という結果となり、4月下旬に開催したことから開催時期が良かったのではないかな。
- ・見学会について、25年度に開催した「自得寺」改修の見学会の竣工後の見学会を開催。

【27年度活動内容について】

- ・27年度以降の委員の変更は特になし。
- ・来年度以降は、主な活動内容については、省エネ関係や宅建業界とコラボ出来るような企画をする。

③構造専門委員会・・・西倉副委員長より

【26年度活動内容報告】

- ・講習会に関しては、計4回開催。どの講習会も定員近く、行政の方にも参加をして頂いた。

【27年度活動内容報告】

- ・沿道耐震の話しによって、適宜講習会を企画して行く。
- ・25年度に開催した「杭頭免震のバス見学会」について、とても評判が良かったことから、黒沢建設・矢作建設に再度別の見学会を企画するよう話をしている。
 - マンションの耐震関係の実例があれば、マンション等の大規模修繕業務専門委員会と協力をし、開催計画をしていただきたい。（福田委員長より）
 - マンションの大規模修繕等のヒアリングに行く際に、古いマンション等で耐震調査が必要がある場合、ヒアリングを一緒に行って頂けるか。（永島専門委員長より）
 - 構造専門委員会にお話しをして頂ければ一緒に同行する（西倉副委員長より）

④マンション等の大規模修繕業務専門委員会・・・永島専門委員長より

【26年度活動内容報告】

- ・講習会について、登録事務所必修の講習会を2回開催。参加者は70名前後。
- ・コンサルタントの推薦について、募集をかけたが一件しか来なかったため、委員会内3名で提出。
→あまりにも募集が少なかった場合、かながわ建築士事務所協会（県事連）に話を振る（福田委員長）

【27年度活動内容報告】

- ・前年度と引き続き、登録事務所必修研修会を8月、2月に予定。
- ・テクノサポート登録の件について、今現在のお申込は、10社程度であり、調度良いお申込数である。
4月中の委員会ですとめて、5月の理事会に報告を行う。
- ・委員会メンバーについて、出席率が悪く、出席して頂けるかたの委員を募集したい。
→担当副会長に相談。その後担当副会長から支部長へ報告を行う。
- ・ホームページについて、関係者に確認し、OKであれば公開をする。その際に理事会へ報告は必要か？
→特に必要なし（棕担当副会長）

⑤景観・まちづくり専門委員会

【26年度活動内容報告】

- ・委員会の開催は、月に1回開催をしている。
- ・目立った活動としては、8月23日に「まちづくり・ひとづくり・しごとづくり6」"酒蔵 Café in 鎌倉、と題し、委員である大沢氏の家へまちあるき見学を行った。
また、11月には、『湯河原のまちあるき』と旅館建築探訪と題し、見学会を開催。開催前に委員で集まり"ひばり荘"の事前調査を行った。
- ・応急仮設住宅計画作成業務について、先日やっと終了した。次年度もやる予定である。
→上記の業務について、委員会で負担になってないか？負担であれば別の所に受け持ってもらいたいが、受け持つ場所が決まらない（棕担当副会長より）
→ある程度、ひな形等も出来ていることから特に負担にはなっていない（小澤副委員長より）

⑥「住・緑・家」運営専門委員会

【26年度活動内容報告】

- ・配布資料について、記載が多いがコンペに関するものは、委員の内、2名の運営となっているので、考えないで頂きたい。
- ・26年度の活動内容については、配布資料をご確認していただきたい。

【27年度活動内容報告】

- ・運営をするのに委員が少ない。募集をしたいが自治会館とのヒアリング等があるため、誰でも良いわけではなく、営業活動が行える方が良い。
- ・自治会館の方は、一般の方ばっかのため一次審査の際、コーディネーターの派遣を検討中。派遣先としては、かながわ建築士事務所協会でお話し出来る方をストックして頂きそこから派遣を予定していきたい。
- ・施工者選定システム及びデザインビルド方式を柱に活動していく。
- ・住宅の案件が少ない。コンペ開催に時間がかかる事が原因であると考え対処法を考えていきたい。